

SSI ニュースレター

2018 年度第 2 号

1. 減免措置のお知らせ

平成 30 年西日本豪雨及び北海道地震により、被災された会員およびそのご親族に心よりお見舞い申し上げます。

一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

メールでのご案内の通り、被災された会員には会費の減免措置を検討させていただきます。被害状況をご説明の上、添付の減額申請書を office@ssi.or.jp 宛に申請してください。

また、減額申請は、離職された方、無給の研究者等も対象となりますので、添付の減額申請書により申請してください。なお、払込済会費の減額を希望される場合には、来年度の会費に充当するのか、返金を希望するのかをあわせてお知らせください。

2. 2018 年学会大会について

9 月 8 日（土）・9 日（日）に「AI が実現する社会・AI が実現しない社会」をテーマに島根大学で 2018 年社会情報学会（SSI）学会大会を開催いたしました。

多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

3. 2018 年度第 2 回理事会について

2018 年 9 月 8 日（土）、2018 年度第 2 回理事会が開催されました。前回議事録、入会者（正会員 6 名、学生会員 4 名）、若手研究者への旅費支援、仮会員取扱細則の改正、学会賞、事務局体制の拡充が承認され、休会制度、シニア会員制度、個人情報利用規則について議論されました。

今年度から始まった若手研究者への旅費支援ですが、海外学会支援への応募は 0 件、大会参加支援は 3 件でした。予算内だったため応募した全員を支援とすることとしました。

また、学会誌の査読体制について意見交換し、来年度（2019 年度）以降、学会誌への投稿論文の査読に対して査読料（和文・英文共に、期限内に査読が終了した場合は 1 本 5,000 円）をお支払いすることにしました。現在、和文誌への投稿がこれまで以上に増えており、多くの会員のみなさまに査読をお願いしています。ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

4. 学会賞について

今年度学会賞を受賞されたみなさんをご紹介します。

学会功労賞

廣松毅 (情報セキュリティ大学院大学教授・本学会名誉会員)

優秀文献賞

是永論『見ること・聞くことのデザイン』(新曜社, 2017 年 4 月 11 日刊)

優秀論文賞

中村雅子 (東京都市大学)「まちを語る主体を編み上げる: 市民デジタルアーカイブ活動の生成, 維持, 変容の検討」(『社会情報学』第 6 巻 2 号)

研究発表優秀賞

上東伸洋 (創価大学)「共感的ネット利用度と共感力との関係性」

中村啓介 (名古屋大学)「人間と道具, 技術との関係: 協働関係に向けて」

山口達男 (明治大学)「ビッグデータ社会の〈視線なき監視〉」

5. 会員名簿発行に関するご協力をお願い

すでにご案内の通り, 当学会の会員名簿を発行いたします。これは学会活動に役立つ目的 (会員相互の共同研究の促進, 学会誌投稿論文の査読者の探索, 学会賞の審査担当者の探索) のために作成するものです。今後, これまで学会事務局にいただいた名簿掲載許可情報や 2 年前の問い合わせへの返信結果を反映させて, 2018 年 10 月 1 日現在の全会員の氏名・会員種別・所属・役職・専門分野・キーワード・主たるメールアドレスを掲載した名簿原案を作成し, 10 月下旬に名簿掲載対象者全員に厳封の封筒で通知いたします。

通知から 2 か月程度の期間を設けまして, 名簿掲載に際し削除・変更などをご希望される場合は別途お知らせいただけるようにいたします。

2019 年 1 月に完成し 2 月中に会員のみなさまに郵送する予定です。

ぜひ目的をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

6. 投票のお願い

現在, 役員候補者ならびに評議員の選挙を実施中です。9 月 28 日到着分まで有効となりますので, まだお済みでない方は投票をよろしくお願いたします。

一般社団法人社会情報学会
総務委員会